

Governor's Monthly Communication

ガバナー月信

Vol. **5**
2017.11.1

Rotary International District 2690 《2017-2018》



2017・2018年度
国際ロータリー会長

イアン H.S. ライズリー

国際ロータリー第2690地区（鳥取・島根・岡山）
2017・2018年度地区ガバナー

池上 正

Contents

- 2 地区ガバナーメッセージ
- 3 D2690 地区財団委員会の現況
- 4 クラブ雑誌・広報委員長会議開催報告
青少年交換委員会
第1回青少年交換受入学生オリエンテーション・
歓迎会及び派遣学生帰国報告会
- 5 クラブ米山記念奨学委員長研修会
第14回ロータリー韓日親善会議（ソウル）印象記
- 6～7 地区便り
- 8 出席報告



昭和36年に営業運転開始した水島コンビナート地区の火力発電所。
〈写真提供：中国電力（株）水島発電所〉





ロータリー財団月間に因んで

地区ガバナー

池上 正

去る6月10日－14日アトランタで財団創立100周年記念の国際会議が約4万名の参加の元に盛大に行われました。RIロータリー財団2015－2016年次報告にはアインシュタインの言葉が引用されています。「人の価値は人から与えられるものではなく人に与えるものでこそ測られるものなのだ」。そしてこう続きます。ロータリーでは世界で行った良いこと、そしてよいことを行える能力によって人の価値を図ります。

ロータリー財団の活動は世界的に高く評価されています。昨年大手放送局であるCNBCはロータリー財団を「世界を変えている慈善団体トップ10」の第3位に選びポリオ撲滅におけるロータリーの多大な貢献を紹介しました。さらに今年慈善団体の格付けを行う「チャリティーナビゲーター」から9回目となる4つ星の最高評価を受けました。

財団の活動の中で最も注目されているのがポリオ撲滅活動です。世界保健機構（WHO）、ユニセフ、米国疾病予防センター、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団とともに行っている活動により大きな進展があり、ビル・ゲイツ氏も2019年にはポリオは天然痘に次いで2番目に地球上から撲滅された病気といわれることを期待していると言っています。

開催前から注目されていましたビル・ゲイツ氏の講演には2万人聴衆が集まり、大変な熱狂の中で行われました。氏はロータリーのポリオ撲滅活動の歴史に言及しロータリアンの偉大な業績を称賛しました。功労者として日本の関場慶博氏もその一人として紹介されました。常在国での工夫として部族長との交渉、住民の理解、正確な地図に基づく活動などが解説され、ポリオ撲滅の手法は他の感染症にも適用できるとして、エボラ、HIVなどの例を挙げました。この日（6月12日）各国政府によるポリオ撲滅支援の誓約がビル・ゲイツ氏

の出席の中でなされたこともトピックスとして紹介されました。この取り決めには渡辺元RI理事も関わっています。各国政府代表が壇上で紹介され、ポリオ資金は総額12億ドルになりました。日本からは5500万ドルで安倍首相の動画メッセージが会場で紹介されました。

財団の活動の中でもう一つ目を引くのは「平和な明日を築く」活動です。ロータリー財団の資金によりロータリー平和フェローとなった若い人々が世界中の、紛争地区、貧困地区で平和のために身を挺して活動しています。昨年の11月27日東京で実施されたシンポジウムではジョン・ジャームRI会長も出席して日本の平和フェロー5名がパネルで活動の報告を行いました。緒方貞子元国連高等弁務官がロータリー財団100周年学友世界人道奉仕賞を受賞し、最近ではそのうちの一人、中満泉ロータリー財団学友が国連事務次長に任命されました。

1月の国際協議会の国際ロータリー財団管理委員長エレクトポールAネツエル氏講演では「翼よ、あれがパリの灯だ」のリンドバークの偉業を紹介し、セントルイスの実業家たちの資金があって初めて成功した。財団には資金があるのでこれを「世界でよいことをする」ために使ってほしいと語りました。

当2690地区は地区補助金とグローバル補助金活動に各ロータリークラブが取り組んでいます。地区補助金は5年間で年間40件を超えるところまで来ておりません。8クラブが1回以下です。何とか地区目標である40件を今年度は達成したいと思います。

グローバル補助金は提案し実施した件数が3件とまだまだです。我々はロータリー財団を資金的に支えています。皆様のチャレンジを期待しております。



D2690 地区財団委員会の現況

地区財団委員長

伊藤 文利

A：ロータリー(Rと略す)財団創立100周年記念余話

- 1、去る6月、アトランタでのR国際大会でもってR財団創立100周年を祝う多彩なイベントは成功裏に幕を閉じた。そして次なる財団200周年に向け新たな第一歩を踏み出し、それに呼応して財団管理委員長のメッセージが以下の如く発表された。「財団の基盤を固めその人道的支援活動で国際的、地域的に認知度を高め、更なる人道的活動をこれからの1世紀に続けていきたい」
- 2、昨年度初め100周年記念として財団への単年度寄付総額を例外的に3億ドルと目標を高くし(年次基金、恒久基金、ポリオプラス基金等の合計額) 特別キャンペーンを実施したところ年度末にはついに目標額を超え、3億400万ドルの浄財が集まった。会員一人当たり約250ドルに相当するが、例年、世界の会員一人当たり寄付額は約100ドルなので、その差額はどこから出てくるかとの疑問は当然あるでしょう。答えはビル・ゲイツを初めとする世界の著名人が総額の約半分を寄付しているという事実を我々は承知しておく必要がある。

B：当地区の誇るべき点

- 1、約3,000人強の我が地区会員は毎年一定して5,000万円前後の寄付をここ10年以上継続するが、この実績は大いに誇りとすべきで、一人当たりの寄付額は約170ドルとなる。この数字は日本のR会員平均の140ドルをはるかに超え、日本の34地区中ではトップテン内に入る。この点、私は地区会員各位に対し満腔の感謝を捧げたい。
- 2、毎年、地区に還元された地区財団活動資金(DDF)からポリオプラスへの寄贈(5~7万ドル)、そして後述するロータリー平和フェローシップへの寄贈(5万ドル前後)を継続している。この実績は日本34地区の中で常にトップ3に入り、毎年財団より表彰を受けている。
- 3、最近、当地区内クラブは少額であるがグローバル補助金(GG)を使って他国クラブ・地区との共同奉仕プロジェクトに協力者として参画し(クラブからの申請によって我が地区もDDFを拠出する場合あり)、従って我々も国際的奉仕活動の一端を担い、

国際援助・親善の役割を果たしている事になる。

C：当地区今後の問題点

- 1、地区補助金を活用しクラブ提唱奉仕活動を実施するクラブ数がここ数年30前後と半分に満たない。毎年少なくとも7割以上のクラブに利用して頂き、地域の発展に貢献して欲しい。
- 2、地区補助金奨学生は幸いにも例年複数の応募があり、合格した複数の学部生または院生が外国の大学で1年間学ぶ。奨学金は1人に最低13,000ドル支給しているが、残念ながら鳥取、島根、岡山の地区内大学からの応募が少なく、結果として地区外奨学生が多くなる。何とかこの傾向を逆転したい。その為には皆様のご協力を期待したい。
- 3、GG奨学生応募がもっと出て欲しい。新制度発足後8年になるが現在まで利用者は1人である。留学年数も1~4年、奨学金も3万ドル以上と恵まれた条件であるが、ただ、専攻科目は財団の掲げる6つの重点項目に沿うものという絶対条件がある。その上財団が最終決定するという厳しいハードルの為応募者が少ないので今後もっと開拓したい。
- 4、GGを活用し2国間で実施する奉仕活動の1つに職業研修チーム(VTT)がある。これ又我が地区はGG資金によるVTTを未だ体験していない。理由は非常に複雑な仕組みの上どうしても外国相手なので語学が堪能で且つ準備段階から相手国に行って交渉する時間的余裕のある人が必要であり、相手側も当然熱心な地区、クラブ、人が存在しなければVTTは成立しない。今後、当地区自身やどこかのクラブがぜひ挑戦してほしい。
- 5、我が地区では財団プログラムの一つであるロータリー平和フェローシップ(奨学金)提供を受けた学生は現在まで皆無である。毎年当地区は5万ドル前後をDDFから寄贈し、この制度の維持・発展に貢献しているのに残念である。問題は厳しい応募要件、学歴・経験などが要求される上に狭き門という事で敬遠されるようだ。それでも、我が地区から一人でも勇気ある奨学生が出て欲しい、皆様のご協力を期待しています。



クラブ雑誌・広報委員長会議 開催報告

地区雑誌・広報委員会 委員長

奥本 寛

8月6日(日)倉敷アイビースクエアに於いて、上記会議が95名の参加者を集めて開催された。本会議に先立って、地区雑誌・広報委員会を昼食をともにしながら和やかに先行、引き続いて「ロータリークラブの公共イメージ向上」をテーマにした会議に移行した。

元ロータリーの友編集長二神典子氏による講演「ロータリーを分かち合おう」は、「RI戦略」を元にした中核的価値観、3つの優先項目についての説明、より具体的な目標へと整然と進められた。講演は50分を超えたが、時間を感じさせない非常に魅力的なものであった。

その後、事例発表が続いた。第7グループガバナー補佐大久保憲作氏は、「FMくらしきの番組を通じてロータリーをPRする取り組みについて」と題し、地域の小学生の安全を守るために、コミュニティFMを使ってアナウンスするという独特の取り組みを紹介された。各RC所在地の地元放送局の多くが、会員とつながりを持っていることから、この方策は会員相互の有効

活用例であろう。公共イメージ向上のみならず、地域社会貢献としても面白い。

岡山南RC直前会長大和豊子氏による「ポリオプラスプログラム研修セミナー」を主催して～特に広報活動の面からの経験談～」。全体的なテーマに関する経験談は、強い説得力をもった話であった。

倉敷南RC会長萩原邦章氏は、地域密着型の取り組みを紹介した。「倉敷南RCロータリー財団地区補助金活動～小学生の大学キャンパスでの体験学習～」小学生の笑顔あふれる写真、映像が何より魅力的であった。

最後に、これらを参考に、テーマについてグループディスカッションを行った。グループ毎の結果発表及び二神典子氏による講評があり、充実したプログラムは終了した。



第1回青少年交換受入学生オリエンテーション・ 歓迎会及び派遣学生帰国報告会

青少年交換委員会委員長

和田 一郎

平成29年8月26日(土)倉敷アイビースクエアにおいて今年度第1回の青少年交換委員会を開催いたしました。今年度の受入学生の歓迎会と派遣学生の帰国報告会が今回のメインテーマでありました。

今年度、当地区の受入学生は2名でアメリカ合衆国より派遣された米子南RCのエミリーさんと岡山旭川RCのジーニアさんです。エミリーさんは当日まだ来日されていなかったためジーニアさんの歓迎会を岡山旭川RCの大原会長はじめ関係者の方々およびホストファミリーのご出席も頂き執り行うことが出来ました。1年間大いに楽しんで、多くの友人をつくり、日本のことを理解していただくことを望んでおります。

また、昨年度の派遣学生は倉吉RCの高野さん・松江東RCの福光さん・児島RCの松下君そして倉吉東RCの岩世君の4名でいずれもアメリカ合衆国の各地へ派遣されました。帰国報告は各ホストクラブの関係者の方々のご出席を頂き素晴らしい報告会となりました。最初は不安と慣れない生活の為、心労や体調がよくなかったりしたそうですが、ホストファミリーの温かい心遣いに元気を取り戻し、やがて英語にも慣れてきて留学生活を楽しむことが出来るようになったことや世界中からの留学生と友達になれたこと、留学期間の終わりが日本に帰国したく

ない気持ちなど複雑な心の内も語っていただきました。派遣学生の全員に言えることはこのロータリーの青少年交換プログラムを通じて留学出来たことを本当に喜んでいただき、世界中の学生と友達になることができたこと、そして人間的に成長できたことなど自分達の経験を自分自身の言葉で語ってくれたことに聞く人は大いに感動いたしました。派遣学生の帰国後の進路についてお伺いすると語学力をもっと身につけて世界で活躍できる職業につきたいと明確な意思表示が出来る子達に成長してくれました。

私はこのプログラムに参加させていただき、今までにないロータリーの経験をさせていただいております。今年度もまた新たな派遣学生を世界に送り出す予定であります。エンドレスプログラムで大変な委員会ですが各委員さんのご協力やご支援があり、また各ロータリークラブ様のご理解やご支援があればこそこの委員会ですので今後ともどうぞよろしくお願いを申し上げます。





クラブ米山記念 奨学委員長研修会

米山記念奨学委員長

佐藤 正浩

国際ロータリー第2690地区 2017-18年度 クラブ米山記念奨学委員長研修会 が2017年9月10日に岡山県国際交流センター 8階 イベントホールにて行われました。橋本 譲ロータリー米山記念奨学会理事、池上 正ガバナー、末長 範彦ガバナーエレクト、第2690地区各クラブの米山記念奨学委員長、武本泰子ロータリー米山記念奨学会 学務・学友担当、馬小菲第2690地区米山学友会会長のご臨席の元で開催されました。

池上ガバナー、橋本理事のご挨拶の後、2017-18年度地区米山奨学委員会活動について私、佐藤より説明を行いました。今年度の奨学生枠は、前年度よりも減少しており、それに伴って募集枠も縮小されています。学務・学友担当の武本様より、米山

記念奨学会の全国的な動向と、学友会の活動などについて、ご講演をいただきました。馬 小菲米山学友会会長からは、第2690地区学友会の活動やご自身の奨学生時代のお話、現在の活動内容についてご紹介いただきました。

その後、会場を岡山県国際交流センター地下1階 レセプションホールに移し、ロータリー米山奨学生・米山学友親睦会が執り行われました。現在の奨学生と各世話クラブのカウンセラーの方々が加わり、奨学生全員の近況などをカウンセラーの方とお話しいただき、盛会のうちに親睦会が終わりました。



「行く言葉が美しければ、来る言葉も美しい」

— 第14回ロータリー韓日親善会議(ソウル)印象記 —

前日韓親善委員会委員長・元RI理事 渡辺 好政

第14回韓日ロータリー親善会議が、2017年、錦秋の9月23日、韓国ソウル市のグランドハイアットホテルにおいて、日本から、田中作次元RI会長、昨年のソウルRI国際大会共同委員長・小沢一彦元RI理事、日本側・日韓親善委員長・市川伊佐夫PDG以下500余名、地元韓国からは、DK Lee元RI会長、蔡熙秉委員長以下2000名を超えるロータリアンとその家族の参加を得て盛大に行われた。第2690地区から、池上 正DG、延原 正PDG、松本祐二PDG、佐藤芳郎PDG、末長範彦GEをはじめ28名の登録を頂き、公式の会合に加え、地区ナイトも含めおおいに親睦の時を持ちました。

当然のこととはいえ、現在の日韓並びにアジアを取り巻く緊迫した情勢について、参加者には、それぞれ胸中には、何かと言葉には表現できないわだかまりを持ちながらの出席でありましたが、「親

善」会議に臨んで旧交を温め、また、新しい友人を求めての値高い時々刻々を楽しみました。

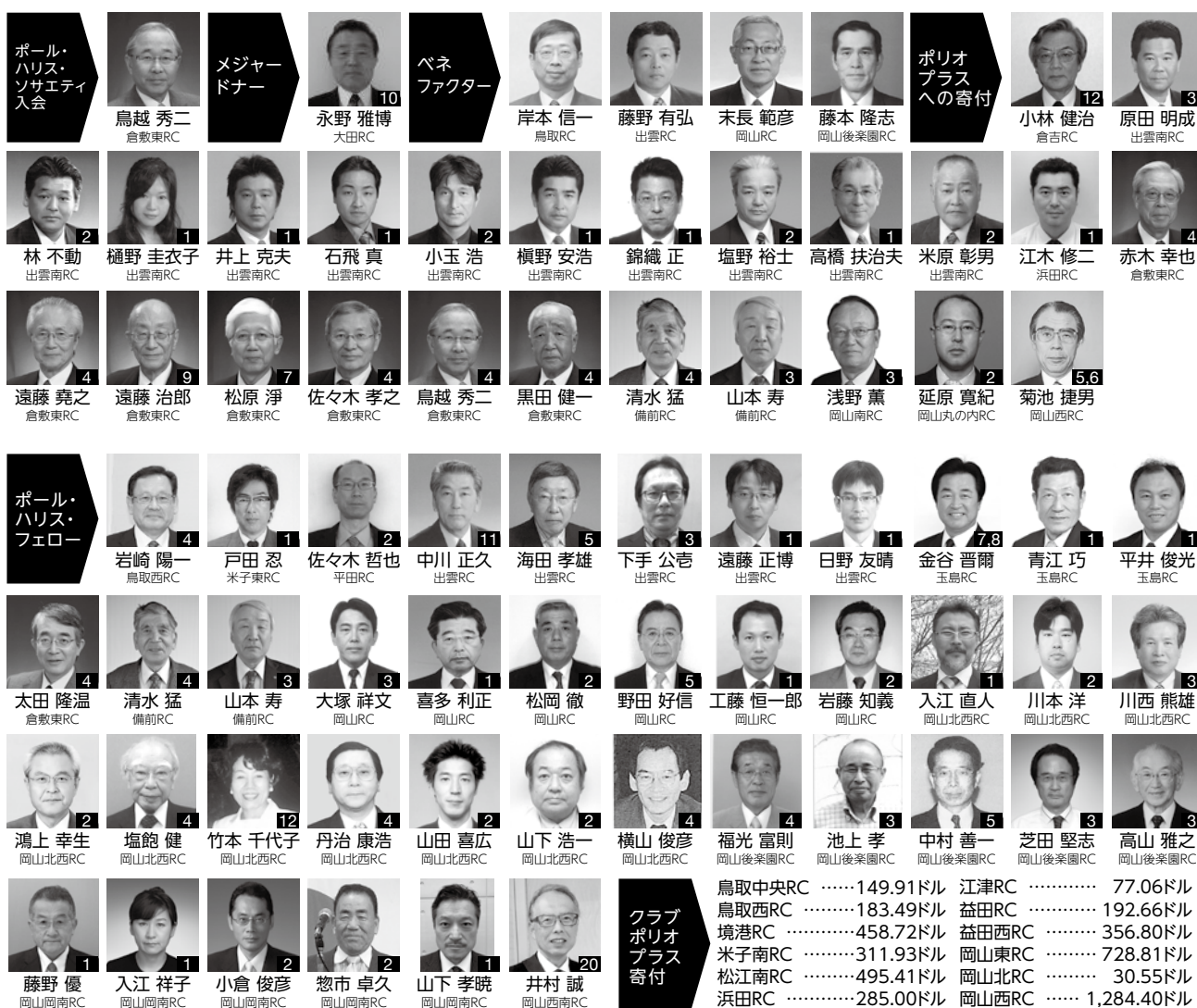
日本側として、大韓民国駐在の特命全権大使・長嶺安政閣下のご出席は、錦上添花を添える出来事でした。更に、30年の歴史を持ち、今回14回を数える韓日・日韓親善会議の日本側創立委員長であり、日本のロータリーの大先輩・菅野多利雄・元RI理事が豊饒としたお姿で出席され、本会議壇上で100歳の長寿のお祝いを受けられたのも生涯忘れることの出来ない圧巻の光景でありました。

今回は、韓国ロータリー総裁団の蔡熙秉議長が引用された「最も早く目的地にたどり着く方法は、親友とともに向かうこと」という諺が印象に残りました。第14回韓日親善会議は、本会議、お交わり会も含め、行き交う言葉は、本稿の表題のように、すべて美しく、思い出深い、楽しい1日となりました。

地区便り 2017年8月新会員のご紹介



地区便り ロータリー財団への寄付



ポリオプラスに
ご寄付を
いただいた方々

●鳥取 RC 油野利博、天野浩一、安住庸雄、馬場 進、藤嶋匡伸、福岡 登美子、船本源司、後藤征二、英 義人、平井耕司、星見清晴、池内勝彦、今井陸雄、石谷暢男、城健一郎
甲斐英則、金坂弘一、木俣信行、本信一、小原隆三、小谷文夫、幸田伸一、久保真人、倉下光明、真鍋和彦、丸瀬和美、松本宏忠、松浦 広、中村碩男、西田泰二、西田良平
西谷佳和、野口裕治、小田橋昭仁、萩原善康、大村匡由、尾崎 繁、坂本 哲、嶋田耕一、清水昭生、四宮佑一、塩 宏、杉原伸治、杉山長毅、住川英明、高橋哲夫、高須幸敏
竹内ひとみ、谷口謙二、谷口麻有子、谷本光正、豊島良太、土江征典、若本憲治、浦本知彦、山岸正明、山崎弘嗣、飯内未男、矢野弘之、米原正明、吉田友和
●出雲南 RC 吉郷純一、浅津和人、福田康平、福代新治、布野浩之、古川精次、儀清秀明、後藤英夫、泰 正、石橋正吉、石田修司、板倉靖雄、伊藤謙嗣、龜谷 清、金山利行
勝部啓司、勝部祐治、川上泰志、木村竜生、桑原京之、松本 毅、三島一男、三代和隆、水谷厚志、水谷 勲、持田隆治、森山育子、本常恵三、永田 美、錦藤正二、西本巧恵
小川 敬、小川哲治、大國行雄、小村尚子、佐々木昭文、佐藤大樹、佐藤克朗、澄川達夫、須谷生男、須山泰則、高橋信治、竹下尚子、竹内一夫、田中 充、東城君子、土井豆勝磨
打田理成、山田隆三、山田朋由、山本祥二、山本由香里、山根 茂、山内瑛明、米山幸男 ●浜田 RC 今井久晴、若谷百合雄、浦田明彦、大崎 寛、柏村英男、小松原和也
佐々木弘泰、佐々木良二、柴田英彦、高橋功一、近重 勉、鶴田英也、畑岡 匡、濱本 巧、松村哲也、森須正孝、矢口伸二、山口博正、吉田 稔、森内有勝、若元正一
●備前 RC 荒井一郎、中條新次郎、藤井和彦、藤本久行、藤原一義、福園良子、後藤康郎、星合豪輝、池本敏朗、伊勢崎淳、伊勢崎創、石原伊知郎、甲矢了二、梶田博嗣、亀田 泰、亀川周明、亀川芳紀、木村宏造
木下洋司、岸本泰子、小松正和、駒澤 勝、近馬俊二、小山末廣、黒原崇正、草加勝康、正務照信、松井正之、森 泰司、向井厚信、長崎信行、中村誠志、中柄烈勲、大饗 守、岡本達也、岡本富美子、阪本文雄
佐藤吉助、杉浦俊太郎、高木光俊、高森謙二、武元誠治、谷口貴久、寺田真紀夫、徳久夕子、役重典之、山本 純、安井元子、吉本 正、吉延四郎 ●岡山東 RC 阿部英夫、赤松典一、安藤寛真、荒川謙三
朝霧元晴、土井雅人、藤井一也、藤岡千秋、藤坂浩匡、福原弘之、福武義修、舟橋弘晃、日名一誠、平井真也、弘中 環、堀 善直、池田博昭、井上 一、井上英雄、井上和宣、石原彰二、石井英行、糸島達也
岩田富士夫、影山修司、貝原明宏、神田 豪、勘藤 晋、菅原一則、木村 旭、北村正彦、小橋雅治、児島道治、近藤典博、近藤聡司、黒住隆一、眞殿重喜、松平 歩、松本 崇、三垣日出人、宮本誠一、三好和宏
森元幹雄、宗森秀成、村松 太、中井拓司、根木克己、西本 晃、仁科恭一郎、西下裕平、大橋正樹、大河原寛、岡本 哲、岡崎芳紀、大西直規、奥野一三、大澤俊哉、大塚 学、齊藤博臣、齋藤信也、斎藤良仁
更井正人、佐々木篤、佐藤英明、世良 仁、堀見泰利、白髪勇一、諸岡賢太郎、末藤達也、菅野正則、砂山有生、高藤祥嗣、高橋憲志、高山眞司、武 和志、寺坂幸治、富岡正機、富谷拓真、富山直司、友野昌平
島居 滋、坪井俊郎、土岩剛志、辻 和英、内山 淳、内山隆義、浮田 實、若林宣夫、和氣伸吉、渡辺 浩、渡邊啓司、山田泰則、山下和也、山下貴司、横田 亮、横手典明、横山 洋、米田弥真司、友野聖己
●岡山北 RC 青木俊也、馬場幸三、福岡 紘、浜田麻里、橋田雄行、廣野賢治、磯島芳樹、井藤勝義、伊藤健志、川本浩司、岸本達也、浦上光章、浦上浩之、高祖哲也、前田俊彰、松田次雄、三宅浩司、宮下誠二
森田 亘、永山雅己、中川博登、中山賢太郎、小野和倫、大森浩史、大塚雅司、砂田信義、佐々木和也、下山宏昭、双田 直、角南真一、杉本康成、高島 浩、高橋茂樹、高取 新、武南浩二、谷本 章、坪井 翔
上野山剛、山本和秀、山本宣良、山本武彦、安原孝則、林 真 ●岡山丸の内 RC 阿部静香、秋本久久、天野伸一、馬場洋子、江見匡史、古川武志、儀岡 剛、半田雄三、蓮池秀和、林 英男、東本純司
飛岡 宏、池田岳守、鶴東正雄、小林茂則、近藤晃一郎、栗田真志、政木 誠、三船貴洋、三宅孝明、森本研治、森本研治、宗政省作、室山英良、西村篤志、布目浩二、小川俊彦、小倉正幸、岡本卓治
岡崎 登、大倉宏治、小野進吾、大月 始、佐藤研治、清水芳可、隅田倫昌、高橋慶次郎、高嶋雅一、頓宮尚公、渡辺 誠

クラブ
年次
基金

鳥取 RC 1,394.50ドル(ミリオンダラーミール)
鳥取西 RC 475.84ドル(新会員寄付)
出雲 RC 733.94 ドル(ミリオンダラーミール)
笠岡 RC 222.83ドル(ミリオンダラーミール)
笠岡東 RC 634.68ドル(ミリオンダラーミール)
岡山東 RC ... 884.59ドル(ミリオンダラーミール、1\$寄付 新会員寄付)
岡山北西 RC 64.97ドル(1\$寄付・10\$寄付 新会員寄付)
岡山岡南 RC 27.50ドル(1\$寄付)
岡山丸の内 RC 308.62ドル(ミリオンダラーミール、1\$寄付)
岡山北 RC 42.77ドル
岡山西 RC 5,458.71ドル(その他)
岡山西南 RC 11.20ドル(新会員寄付)

年次基金に
ご寄付を
いただいた方々

●鳥取 RC 油野利博、天野浩一、安住庸雄、馬場 進、藤嶋匡伸、福岡 登美子、船本源司、後藤征二、英 義人、平井耕司、星見清晴、池内勝彦、今井陸雄、石谷暢男、城健一郎
甲斐英則、金坂弘一、木俣信行、岸本信一、小原隆三、小谷文夫、幸田伸一、久保真人、倉下光明、真鍋和彦、丸瀬和美、松本宏忠、松浦 広、中村碩男、西田泰二、西田良平
西谷佳和、野口裕治、小田橋昭仁、萩原善康、大村匡由、尾崎 繁、坂本 哲、嶋田耕一、清水昭生、四宮佑一、塩 宏、杉原伸治、杉山長毅、住川英明、高橋哲夫、高須 幸敏
竹内ひとみ、谷口謙二、谷口麻有子、谷本光正、豊島良太、土江征典、若本憲治、浦本知彦、山岸正明、山崎弘嗣、飯内未男、矢野弘之、米原正明、吉田友和 ●境港 RC 辻司尚史
●米子東 RC 林 俊一、岩崎 浩、佐田山有史、谷野利宏、永島正道、今出 上、高橋孝之、中村剛士 ●松江南 RC 関谷忠之 ●出雲 RC 小豆澤貴洋、遠藤充子、江角彰宣
藤野有弘、福岡正純、福岡利行、布野浩之、日野 美、廣田恵春、井川幹夫、飯島菊次郎、今岡一朗、石原一徳、伊藤信二、泉山 州、嘉藤 充、勝部一郎、小阪真二、小野慧司
木佐明宏、木佐明子、黒崎健一郎、松崎太志、三吉庸善、御善善治、森山宗浦、松井修一、永島弘明、内藤輝一、中筋豊通、中山真実、成相善美、那須康弘、西村武也
佐藤大造、佐藤秀俊、佐藤誠一、白澤 明、杉浦弘明、須佐建史、武志俊太郎、谷本幸也、豊田元哉、渡部 季、山下一也、矢野一正 ●総社吉備路 RC 秋山 伸、荒井康弘
江本公一、福本里志、福谷信行、池上亮太郎、一坪雅代、片岡公省、片岡太郎、茅原健次、小原忠志、小西勇人、倉田正春、源佑一郎、原哲也、岡田孝文、廣田信典、佐野重治
田村謙治、友野 勤、遠山弘志、津高 篤、植木 守、渡辺英男、薬師寺公一、山本有道、山脇典之 ●倉敷南 RC 堀本幹夫 ●倉敷水島 RC 藤井重信、藤井精司
藤原一也、近藤研二、近藤修六、小山恭男、桑田南都、松浦利行、宮原一夫、三宅孝一、三宅孝一、中田利幸、西本克寛、小野文彦、阪本 均、世山悦郎、瀧澤 正
木村宏造、木下洋司、岸本泰子、小松正和、駒澤 勝、近馬俊二、小山末廣、黒原崇正、草加勝康、正務照信、松井正之、森 泰司、向井厚信、長崎信行、中村誠志、中柄烈勲、大饗 守、岡本達也、岡本富美子
阪本文雄、佐藤吉助、杉浦俊太郎、高木光俊、高森謙二、武元誠治、谷口貴久、寺田真紀夫、徳久夕子、役重典之、山本 純、安井元子、吉本 正、吉延四郎 ●岡山北西 RC 相原利行、藤岡 温、福元裕之
花房 茂、原 全伸、原田徹美、樋口芳紀、日笠常信、平松 信、堀川辰也、若本一善、加戸善治、鴨井利典、笠原英司、河村定孝、家守 政孝、本本克彦、橋高正剛、児島正典、小松忠男、小松原隆代
小菅英司、能野俊策、橋 俊平、松村秀治、森本剛仁、仲田錠二、西岡貞則、内山隆三、大賀基弘、大畑裕一、岡本和夫、岡本浩三、岡村秀男、大賀よし江、末吉賢二、鈴木一生、高橋幸男、坪井雅弘、植田道弘
氏房信明、渡辺晋一 ●岡山後楽園 RC 赤島 健、赤木 匠、秋定 健、秋山義信、荒木賢治、浅海淳一、土井基之、土井志郎、藤本隆志、藤本洋平、藤原 學、深井豊久、蜂谷真規、長谷博明
居森正而、大饗吉太郎、若坂宏治、片山康雄、川本平山、岸本泰博、大森和也、古和 聡、小山幹雄、國貞繁樹、川山要樹、松井浩明、光岡政和、宮崎雅史、森谷行利、守田敏英、中村淳一、那須保夫、高山 悟
岡本崇松、岡村和則、大角雄三、大手信郎、大塚康吉、新農泰治郎、末光 茂、高原弘海、田邊敏三、島越貞成、内山清義、宇喜多俊材、内海睦雄、吉田啓一 ●岡山南 RC 浜田周作、飯野 明、三好年久
吉田 修 ●岡山岡南 RC 藤井將登、井上 元、見手倉秀之、守時 泉、中前貴子、中村有作、太田哲生、柴田 収、瀧取宏治、山中真悟 ●岡山西 RC 坂口 幸吉

恒久
基金
への寄付

岡山西 RC
菊池 捷男

メモリアル・
コントリビューター

出雲 RC 海田 孝雄がご尊母、海田 京のために
大社 RC 岩成 健治がご尊父、岩成 善市のために

地区便り 米山記念奨学会への寄付

米山
功労者



クラブ
普通寄付

高梁 RC
205,000円
備前 RC
135,000円

個人
特別寄付

●米子東 RC 岩崎 浩 ●総社吉備路 RC 秋山 伸、荒井泰博、江本公一、福本里志、福谷信行、池上亮太郎、一坪雅代、片岡公省、片岡太郎、茅原健次、小原忠志、小西勇人、倉田正春
源佑一郎、小原哲也、岡田孝文、眞田信典、佐野重信、高木裕弘、高北敏明、清水宏之、田村謙治、友野勤、遠山弘志、津高 篤、植木 守、渡辺英男、薬師寺公一、山本有道
山脇典之 ●岡山東 RC 荒川謙三、堀 善直、井上英雄、糸島達也、近藤典博、三垣日出人、岡本 哲、大西直規、齊藤博臣、平井真也、岩田富士夫、宗森秀成、寺坂幸治、三好和宏
根木克己、高橋憲志、高山眞司、山下貴司、横田 亮、佐々木篤、奥野一三、朝霧元晴、堀見泰利、白髪勇一、世良 仁、土岩剛志 ●岡山南 RC 藤井將登、藤野 俊、入江祥子、井上 元
磯邊 崇、見手倉秀之、守時 泉、中前貴子、中村有作、小倉俊彦、太田哲生、柴田 収、取市卓久、山中真悟、山下孝晴



訃報

謹んで哀悼の意を表し、
ご冥福をお祈りします。



有本 薫 (備前 RC)
逝去日/2017年8月18日
享年/87歳
入会日/1995年7月7日



砂山 有生 (岡山東 RC)
逝去日/2017年9月10日
享年/77歳
入会日/1979年1月4日



出席報告(2017年9月)

クラブ名	make-up 後 出席率	ホームクラブ 出席率	例 会 数	会 員 数			
				7月1日	9月末	内女性 会 員	増減
第1グループ	智 頭	94.44%	86.11%	4	9	9	0
	倉 吉	96.23%	76.42%	4	55	53	▲2
	倉吉中央	89.58%	71.88%	4	24	24	2
	倉吉東	83.91%	68.97%	4	44	48	3
	鳥 取	100.00%	75.27%	3	61	62	3
	鳥取中央	84.48%	82.76%	3	38	41	1
	鳥取北	77.94%	73.55%	3	48	50	5
	鳥取西	93.46%	79.62%	5	52	53	1
	小計(8)	90.68%	76.07%		331	340	17
第2グループ	境 港	86.51%	71.54%	4	49	48	▲1
	米 子	76.36%	56.73%	4	66	69	3
	米子中央	80.00%	71.43%	3	33	35	2
	米子東	76.63%	62.71%	4	102	105	8
	米子南	87.22%	69.44%	3	62	64	4
	小計(5)	79.75%	64.05%		312	321	18
第3グループ	松 江	92.37%	76.83%	4	65	70	1
	松江東	89.74%	81.41%	3	53	53	1
	松江南	90.00%	77.78%	3	68	70	5
	松江しんじ湖	94.12%	76.85%	4	51	53	9
	隠岐西郷	87.50%	76.14%	4	22	22	0
	小計(5)	91.13%	77.76%		259	268	16
第4グループ	平 田	82.76%	78.26%	3	42	42	2
	出 雲	85.82%	75.89%	3	52	52	3
	出雲中央	84.13%	75.40%	3	43	43	4
	出雲南	97.58%	81.16%	5	66	66	6
	大 社	60.69%	55.86%	3	53	54	4
	小計(5)	85.43%	74.77%		256	257	19
第5グループ	江 津	68.25%	60.98%	4	36	34	▲2
	浜 田	88.53%	78.90%	4	56	57	1
	益 田	89.47%	77.89%	5	19	19	3
	益田西	84.78%	67.03%	4	23	22	▲1
	大 田	82.41%	74.07%	4	28	27	▲1
	小計(5)	83.10%	72.76%		162	159	▲3
第6グループ	井 原	87.42%	75.47%	4	42	43	2
	笠 岡	98.83%	92.94%	4	43	46	2
	笠岡東	88.69%	85.12%	4	42	42	1
	新 見	96.25%	83.75%	4	21	21	2
	総 社	75.00%	68.52%	4	29	30	6
	総社吉備路	85.47%	82.91%	4	32	31	▲1
	高 梁	89.76%	85.83%	3	41	43	0
	玉 島	86.61%	83.93%	4	26	30	2
	小計(8)	88.87%	82.80%		276	286	16

クラブ名	make-up 後 出席率	ホームクラブ 出席率	例 会 数	会 員 数			
				7月1日	9月末	内女性 会 員	増減
第7グループ	児 島	80.43%	71.74%	2	25	25	1
	児島東	96.88%	90.63%	2	16	16	0
	倉 敷	100.00%	79.81%	4	82	87	1
	倉敷中央	78.57%	78.57%	3	17	17	8
	倉敷東	99.09%	88.07%	3	40	40	3
	倉敷南	93.23%	70.11%	5	61	62	3
	倉敷水島	84.21%	78.18%	3	24	24	0
	倉敷瀬戸内	82.05%	76.06%	2	37	39	2
	小計(8)	93.58%	77.45%		302	310	18
第8グループ	真 庭	94.85%	88.66%	3	34	35	0
	美 作	89.53%	87.06%	3	28	29	1
	津 山	83.43%	56.21%	4	83	88	3
	津山中央	81.33%	71.62%	3	26	25	▲1
	津山西	89.83%	80.34%	4	31	30	▲1
	小計(5)	86.55%	69.90%		202	207	12
第9グループ	赤 磐	68.42%	54.05%	3	12	13	0
	備 前	79.34%	71.13%	4	54	52	▲2
	岡 山	92.38%	75.48%	4	110	114	1
	岡山東	92.51%	83.42%	4	95	98	0
	岡山北西	87.18%	74.36%	3	53	53	3
	岡山後楽園	79.90%	68.27%	4	54	53	▲1
第10グループ	小計(6)	87.42%	75.30%		378	383	9
	岡山旭川	72.12%	68.27%	4	25	26	2
	岡山中央	70.89%	57.32%	5	34	34	3
	岡山北	84.88%	66.86%	4	44	43	▲1
	岡山南	84.15%	72.81%	3	158	168	19
	玉 野	88.57%	85.00%	4	35	35	0
第11グループ	小計(5)	81.65%	70.67%		296	306	25
	岡山備南	80.37%	77.57%	4	30	30	2
	岡山城	89.77%	81.40%	4	22	22	0
	岡山岡南	72.12%	61.00%	4	26	27	2
	岡山丸の内	78.66%	71.34%	4	40	42	2
	岡山西	91.24%	76.85%	3	70	73	5
第11グループ	岡山西南	91.13%	78.33%	4	56	57	5
	小計(6)	85.16%	74.89%		244	251	16

地区クラブ内の状況

クラブ数	66RC
2017年7月1日会員数	3,018 名
2017年9月末日会員数	3,088名
内 女性会員数	172名
純増	70名
2017年9月出席率	make-up後 86.79 % ホームクラブ 74.33 %



国際ロータリー第2690地区 池上 正ガバナー事務所

〒712-8011 岡山県倉敷市連島町連島133-1 株式会社丸文 内
 TEL: 086-476-2690 FAX: 086-476-2660
 E-mail: ikegami-2690@vesta.ocn.ne.jp
 HP: http://2017.rid2690.gr.jp/